

# 運動部 躍進!

## 心を一つにさらなる高みへ

美 方 高 校 新 聞



発行所  
福井県立美方高等学校  
新 聞 部  
編集責任者  
新 聞 部

### ボート部 五種目でインターハイ チャンピオンの貫録

六月四〜六日、県内各会場で春季高校総体が行われた。コロナウイルス感染対策のため、どの競技も無観客試合となりやや寂しさはあったが、二年ぶりに開催できた喜びは大きく、各会場で熱い戦いが繰り広げられた。



男子クオドルプル一位 (柴崎・津志田・山口・岩崎・脇田)



女子クオドルプル一位 (上村・鶴田・柴田・馬野・浅野)

### テニス部

## 団体3位 北信越決める

六月五〜六日、福井運動公園で行われた。持ち味の「粘り強さ」を發揮し、仲間を信じて落ち着いたプレーで準々決勝戦賀気比に三・〇で勝利した。準決勝は藤島に敗れたが、三位決定戦で気持ちを入れ直し、若狭高校に二・〇で勝利し北信越出場を決めた。

キャプテンの宮下妃海さんは「団体メンバーは五人だったが、部員全員がユニフォームを着て応援してくれた。北信越出



勢いのあるサーブ

場は十七人で勝ち取ったものだ」と強く感じる。ずっと目標にしていた「北信越大会出場」を達成できてすごく嬉しい。ここで満足せず最後まで勝利にこだわり、格上の相手でも諦めずに食らいつきたい」と語った。



男子シングルスカル二位 (岸本)

六月五〜六日、久々子湖で行われた。全六種目中五種目でインターハイへの切符を掴んだ。男子クオドルプルはスタートから飛び出し、首位を譲ることなく二位と十四秒の大差をつけてゴールした。女子クオドルプルはうまくスタートを決めることができなかったが、中盤に焦らず集中し



女子シングルスカル一位 (清水)

て漕ぎ、最後はスピードに乗って一位でゴールした。女子ダブルスカルでは一年生クルーが大健闘の優勝を果たした。男子シングルスカルは、千mからスピードに乗り一位と二秒差まで追い上げ二位でゴールした。女子シングルスカルは、漕ぎの長さ、水中の強さを生か

し他の艇と大差をつけて一位となった。今回の結果を受けて男子主将の山口遥平さんは「八月のインターハイに向けて、今まで以上に練習の質や意識を高めていく。また地元開催なので必ず優勝して全国タイトル二冠を達成したい」と決意を述べた。



女子ダブルスカル一位 (岩本・武田)

# 剣道部 全力をぶつけた 自分達らしい試合

六月四〜六日、県立武道館で行われた。団体戦は男女共に一回戦を勝ち上がったが、準々決勝で敗退した。

今大会を終えて男子キャプテン江戸隆暁さんは「自分達の剣道ができた。最後に取り返すことができなかつた悔しさは大学剣道に繋げたい。後輩には敦賀高校を倒しインターハイベスト八を目指して」



全力を出し切ったメンバーたち

ほしい」と後を託した。

女子キャプテン芦田一葉さんは「団体でのインターハイ出場を目指して挑んだが、準々決勝で金津にあと一歩及ばず悔しい結果になった。しかし、一人一人がチームのために戦うことができた。後輩には試合で全ての力を発揮できるように強くなってほしい。意見を出し合い仲良く頑張るってほしい」とエールを送った。

【試合結果】  
男子団体(一回戦)  
美方vs羽水 四-〇  
【準々決勝】

美方vs敦賀 〇-三  
女子団体(一回戦)  
美方vs福井商業 四-一  
【準々決勝】  
美方vs金津 〇-二

# バレー 決勝リーグ進出 どこまでも繋ぐ

六月四〜五日、武生東高校で行われた。予選リーグは美方・鯖江・福井農林と戦い一勝一敗で目標の決勝トーナメントに進出した。その後は高志高校に敗れたものの、粘り強さを発揮し、今までで一番良い雰囲気で行ったことができた。

キャプテンの松田梨稚さんは後輩に向けて「これから辛く大変なこともあると思うが、引退する時にバレー部に入って良かったと思えるように皆



円陣組んでエンジン全開

で仲良く楽しく頑張るってほしい」と語った。また、お世話になった方々へ「今まで忙しい中ご指導頂きありがとうございます。東山先生、松永先生、外部コーチの辻さんをはじめ、多くの方々のお陰で目標を達成することができました。これから進路実現に向けて頑張ります」と語った。

【試合結果】  
【予選リーグ】  
美方vs鯖江 〇-二  
美方vs福井農林 二-一  
【決勝トーナメント】  
美方vs高志 〇-二

# 卓球 パートナーを信じて

六月四〜六日、福井県営体育館で行われた。男子団体一回戦、武生商業・武生商工を相手に二対二で迎えた最終試合で一年の藤原尚大が見事勝利すると、部員一同が奮起。

その後の強気なプレイに繋がった。二回戦は大野高校に三-一で惜しくも敗退した。女子団体一回戦、羽水高校を相手に集中力を高め一本を確実に取りに行き三-〇で勝利した。二回戦は強豪福井

# ソフト部 一球に託した希望

六月五日に敦賀きらめスタジアムで行われた。



最後まで粘った試合

北陸高校に二-一(五回コールド)で一回戦敗退となった。攻撃的な相手に押され苦しい場面が多かったが、バツティングでは二年生がチームを引っ張った。

大会後キャプテン武田日莉さんは「このチームで勝てなかつたことが悔しいが、皆の頼もしい姿、楽しんでる姿が見られたから三年間頑張ってきた良かったと実感した」後輩へ「自分たちを超えて強いチームにも勝ってほしい。皆なら出来る！」とエールを送った。



やり遂げた部員一同

商業に三-〇で敗退した。主将の大野馨大朗さんは後輩に「最後まで真剣に部活に取り組むことが

一番大切だ。真面目にとりくんだ分だけ最後に笑えるはず」先生方に「選手の管理や指導は大変だと思いますが、純粹でかわいい後輩たちなので最後まで面倒を見てくださると幸いです。本当にお世話になりました」と感謝の気持ちを表した。  
高橋永遠さんは「辛い時もあったが、このメンバーで過ごした毎日は本当に楽しかったです。本当に仲が良く毎日どんどん強くなっていく一、二年生は自慢の後輩です。これからも頑張ってください。ずっと応援しています」と語った。